

平成25年度教育行政執行方針



高野利廣教育長が示した、せたなの教育の目指す姿と取り組みをお伝えします。

子ども達の健やかな成長を願う町民の負託に応えるため、国や北海道の動向を見据えながら、せたなの教育のめざす姿である「ふるさとの未来を創る新しいせたなの教育」遂行のため、「第1次せたな町教育推進計画」を基本に、学校・家庭・地域社会とより一層連携・協力を図りながら、総合的な教育行政の推進に鋭意努めてまいります。

1 学校教育の推進

(1) 幼児教育の充実

北檜山幼稚園では、家庭と連携しつつ園児一人ひとりの特性を理解し、基本的な生活習慣や自立性、協調性、集団性が身につくよう指導の充実に努めます。

また、幼稚園から小学校への学びの連続性を維持するため、幼稚園児の小学校体験入学や小学校児童の幼稚園訪問などを取り入れ幼・小の連携を図ります。



(2) 義務教育の充実

子どもの主体的な学びを尊重する中で、「確かな学力」「豊かな心」「健

やかな体」を育む教育課程を推進します。

「確かな学力」については、基礎的・基本的な「知識や技能」を活用した学習を重視し、「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力」を育むと共に、言語環境の整備と充実に努めます。

各校の校内研修の一層の充実に図り、「分かる」授業を目指すと共に、家庭と連携し、学習習慣の確立を育む取り組みを推進します。

全国学力・学習状況調査は、全小中学校を対象

公表し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進します。

(6) 教職員の資質能力向上

校内研修、町教育研究会でのサークル研究の実施等、教育実践力を高める研修活動の充実に努めます。

更に、教職員は、地域社会からの尊敬・信頼を受けると共に、児童生徒の模範となるべき立場にあります。服務規律の徹底を図り、教育公務員としての自覚を深めます。

(7) 学校安全、防災・防犯教育の充実

学校安全については、自らの安全を確保することができるとともに、自ら身につけるよう指導します。

「学校危機管理マニュアル」をもとに、実践的な訓練等を進め、防災・防犯教育を充実・強化し、自らの命を守る力を育成します。更に、「子どもの安全を守る連絡協議会」等と連

携・協力し、登下校時や校外活動における安心・安全確保を図ります。

(8) 教育環境・条件整備

教育環境の整備では、瀬棚中学校校舎及び体育館の耐震改修の実施設計、改修工事では瀬棚小学校遊具及び体育館外壁改修工事、久遠小学校校舎ペントハウス屋上防水及び体育館屋根改修工事、北檜山中学校グラウンド芝等改修工事を実施します。

瀬棚商業高校閉校後の校舎活用では、図書館、資料館、児童保育施設等の集約化を予定しています。また、檜山北高校への通学バスについては、大成区を含め継続助成します。

2 社会教育の推進

(1) 生涯学習を促進する社会教育活動

生涯学習の体制づくりを強化するため社会教育主事一名を採用します。女性団体などの支援、



高齢者大学の一層活発な運営に努めます。「せたなつ子を育てる健全育成事業」を継続し、その一環として取り組んでいる学校支援事業を、ボランティアによる支援のもと更なる充実に努めます。

(2) 青少年の健全育成

家庭教育学級など子育てに関する学習機会の充実に努めると共に、町外での宿泊研修を通じた

として行う予定になっており、ふるさと教育と自ら解決する力の育成を目指した「総合的な学習の時間」の充実に努めます。「豊かな心」の育成については、「自他の尊重や思いやり」「命の尊さ」などの道徳教育を充実すると共に、自然体験や奉仕活動等を展開する中で、内面の健全育成に努めます。

「健やかな体」については、家庭と連携し「早寝・早起き・朝ごはんの励行」「テレビやゲームの視聴時間の見直し」等規則正しい生活習慣の確立、運動習慣を身に付けさせる指導に努めます。

また、給食指導と「食に関する指導」や地域の人材及び教育資源を活用した指導を進め健やかな体と食習慣の指導を一層充実させます。

(3) 特別支援教育

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、

ジュニアリーダー養成事業など各種体験活動の充実に努め、子ども育成会の活動に対し支援します。

(3) 芸術・文化の振興

町民の芸術・文化活動の成果を発表する場の充実に努め、本年度は、移動美術展、芸術鑑賞会を開催します。

郷土芸能団体の活動に支援し、継承に努めます。また、文化財の保護・活用では、郷土資料館等での適切な整理・保存に努め、郷土学習等での活用を図ります。本年度は日本公認女医第一号「荻野吟子」女史が亡くなって100年を迎えることから、講演会を開催することとしています。

(4) スポーツの振興

町民が、スポーツや健康づくりに参加できるように、体育協会やスポーツ団体等と連携し、講座の開催、町民スポーツ大会等の充実に図り、スポー

個々の力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服することに努めます。また、関係機関と連携し、研修・実践を進め、各学校における特別支援教育コーディネーターや校内委員会等の活用により、ニーズに応える指導を展開します。

(4) 生徒指導の充実

いじめや不登校への取り組みは、定期的にアンケート調査や教育相談等を実施し、未然防止・早期発見・早期解決に向けて迅速な対応に努めてまいります。

携帯電話やネット上のトラブル等は、利便性の裏に潜む危険性について、関係機関と連携し指導及び保護者への啓蒙・連携を進めます。

(5) 信頼される学校づくり

学校の経営方針や児童生徒の活動の様子を保護者・地域に周知し、意見や要望を教育活動に反映させ、更に、自己評価や学校関係者評価等を実施・



青少年団等の全道全国大会参加経費の助成等、生涯スポーツの推進に努めます。

施設の整備では、真駒内球場の改修、スポーツ公園、町民体育館、B&G海洋センター体育館、大成スキー場等の改修を進めます。

(5) 国際交流の充実

アメリカ・ハンフオード市との姉妹都市交流では、今後も無理のない交流を継続することで確認され、本年度は中学生及び成人を募り訪問します。友好の絆を更に深めるため、姉妹都市交流推進協議会への支援、連携に努めます。